

騒音に関する説明書

事業者名称

事業場名称

設備名称

令和 年 月

連絡先

担当者 氏 名

所属部課

電話番号

主任技術者

氏 名

※担当者と主任技術者が同じ場合は、電気主任技術者の氏名は省略が可能です。

一 設置（変更）しようとする発電設備（変電設備等）の概要

<p>事業者名 代表者の氏名 (代理人の職氏名) 住所</p>	<p>〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇〇〇 (代理人〇〇) 県市町番地</p>						
<p>発電所（変電所等）の名称 発電所（変電所等）の所在地 従業員数</p>	<p>〇〇発電所（変電所） 〇〇号発電設備 県市町番地 人</p>						
<p>発電設備 (変電設備等) の概要</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="244 752 683 922"> <p>発（変）電設備の番号 発（変）電設備の出力（容量）</p> </td> <td data-bbox="683 752 1444 922"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="244 922 683 1093"> <p>通風機の種類 通風機の通風量 通風機の個数</p> </td> <td data-bbox="683 922 1444 1093"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="244 1093 683 1258"> <p>空気圧縮機の種類 空気圧縮機の容量 空気圧縮機の個数</p> </td> <td data-bbox="683 1093 1444 1258"></td> </tr> </table>	<p>発（変）電設備の番号 発（変）電設備の出力（容量）</p>		<p>通風機の種類 通風機の通風量 通風機の個数</p>		<p>空気圧縮機の種類 空気圧縮機の容量 空気圧縮機の個数</p>	
<p>発（変）電設備の番号 発（変）電設備の出力（容量）</p>							
<p>通風機の種類 通風機の通風量 通風機の個数</p>							
<p>空気圧縮機の種類 空気圧縮機の容量 空気圧縮機の個数</p>							

二 騒音防止の方法

指定地域の区分 規制基準 騒音の大きさ イ 特定施設等の騒音の 大きさ ロ 発(変)電所等の境 界上の騒音の大きさ の推定値 騒音防止方法の概要 (図面添付)	第 種 朝夕、昼、夜間 デシベル
--	---------------------

三 添付図面

発電所等の平面図及び周辺図にイ及びロに掲げる事項を図示し、ハに掲げる事項を付記すること。

イ 発電所等の騒音に関する設備（特定施設等の騒音源及び騒音防止に関する設備）の配置図

ロ 発電所等の境界周辺の状況

海、河川、道路、農地等の状況及び住居、病院等の建造物の状況

なお、発電所等が属する指定地域の区分と周辺の指定地域の区分が異なるときは、その状況

ハ 境界線上の騒音の大きさを図示した図面（原則として次の箇所数を等間隔に選定する。

境界周辺の長さ	箇所数
300m 未満	12
300m 以上 500m 未満	16
500m 以上 1,000m 未満	20
1,000m 以上 2,000m 未満	24
2,000m 以上 3,000m 未満	32
3,000m 以上	40

(注) 変更しようとする場合には、変更事項について変更前及び変更後の内容を併記すること。

(参考) 騒音の測定方法

騒音の大きさの測定方法は、昭和 43 年 11 月 27 日付け四省共同告示第 1 号「特定工場等において発生する騒音の規制に関する基準」備考 3 及び 4 によるほか、(社)日本電気協会電気技術基準調査委員会の電気技術指針「発電所等における騒音防止対策指針」の「発変電所の騒音測定方法」(JEAG5001-1971)によること。

備考

- 1 本説明書のうち一～三について、写しを一部提出すること。
- 2 本説明書の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格 A 4 とすること。